

《参考資料》【イメージと動きの例】

2人の戦い

- ・ボクシングの激しい攻防
- ・フェンシングの戦い
- ・ギャングとスパイの戦い
- ・最後のパンをめぐる激しい戦い
- ・武器を使う忍者の戦い
- ・武蔵と小次郎（槍と刀での）の対決
- ・ボス対ボスの一騎打ち
- ・騎乗の戦い
- ・池の中での戦い



対決！

追いつ追われっ

- ・大都会を
- ・ジャングルの中を
- ・池の中を
- ・吊り橋の上を
- ・迷路の中を
- ・宝を横取りした仲間を追え
- ・ビルの谷間を
- ・野を越え川を越え
- ・城の中を
- ・塀の上を
- ・武士と忍者



危機一髪！○○

- ・閉じ込められた！
- ・蚊の大群に襲われる！
- ・迷路に迷い込んだ！
- ・ブラックホールに吸い込まれる！
- ・一面油で思うように動けない！
- ・天井が降りてきた！



【单元前半の学習カードの例】

「対決！」学習カード

月 日 () 時間目 年 組 名前 []

◆今日の小テーマ

◆ひと流れの動きで表した内容（一番のお気に入りに◎をつける）

◆学習を振り返って ◎…大変よくできた ○…よくできた △…もう少し

☆「対決！」の表現を進んで楽しむことができた。	
☆いろいろなイメージをひと流れの動きにして踊ることができた。	
☆大げさな動きで、感じを込めて踊ることができた。	
☆友達のよい動きを認めたり、協力したりすることができた。	

◆感想

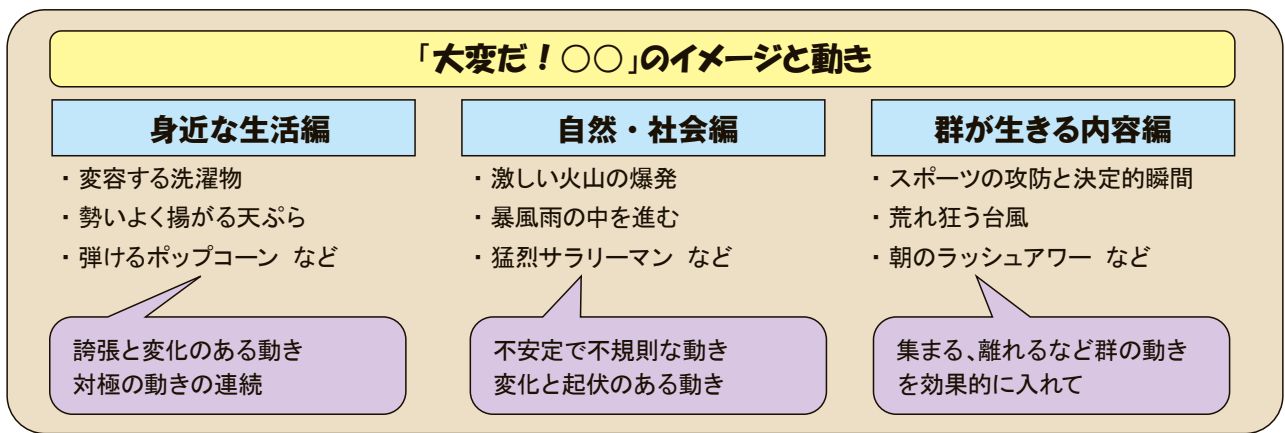
大変だ！○○ (激しい感じの表現)

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

この単元は、高学年における表現の「やや進んだ段階」を想定しており、単元後半のグループごとに「はじめ-なか-おわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして表現する学習に重点を置いています。
 本単元では、表したいイメージをグループで共有しながら、そのイメージを強調するために、集まる・離れる、合わせて動く・自由に動くなどの群の動きを効果的に取り入れやすい内容として「大変だ！○○」を取り上げました。この題材のよさは、日常生活や自然現象などの多様な題材から激しい感じのイメージをひろげ、変化と起伏のある表現にしていくところにあります。友達と感じを込めて表現できるようにすることを目指します。

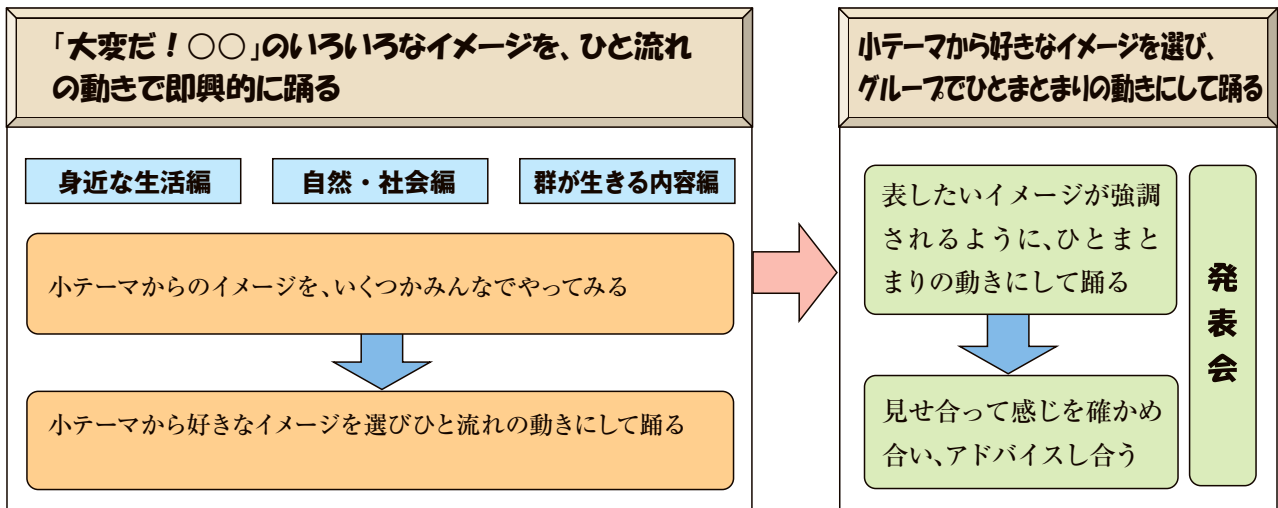
《どんな題材を・どんな動きで》



(2) 授業づくりの考え方

表現の学習を経験してきた高学年の児童の場合でも、間があいていると踊ることに対する恥ずかしさがあるため、毎時間の導入では、心と体を十分にほぐすことが重要です。そのためには、体をめいっぱい使ったり、自然に声が出て楽しい雰囲気になるような工夫が重要です。
 単元前半では、「大変だ！○○」から毎時間の小テーマを設定してイメージをひろげ、変化のあるひと流れの動きにして即興的に踊って楽しめるようにします。単元後半では、表したいイメージ別グループで、強調したい激しい感じや急変する感じが際立つように、「はじめ-なか-おわり」を考えたり、効果的な群の動きを取り入れたりしてひとまとまりの動きにしていきます。ペアグループで見せ合い、アドバイスをし合ったり、指導者が見てアドバイスしたりすることによって、表したいイメージを強調することができるようにしていきます。

《どのように学習を進めるのか》



2 単元目標

- (1) 「大変だ！○○」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) 「大変だ！○○」の表現に進んで取り組み、互いの動きのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)
- (3) 課題の解決の仕方や自分のグループのよさを知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、自分やグループのよさを生かす動きを見付けたりすることができるようにする。 (思考・判断)

3 単元の評価規準





	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元 の評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ●「大変だ！○○」の表したい感じを表現して踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現に進んで取り組もうとしている。 ●約束を守り、友達と助け合って練習や発表をしようとしている。 ●運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり構成を変えたりしている。 ●自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「大変だ！○○」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。
学習 活動に 即した 評価 規準	<ol style="list-style-type: none"> ①「大変だ！○○」の表現に進んで取り組もうとしている。 ②互いのよさを認め合い、助け合って練習や発表をしようとしている。 ③練習や発表する場の安全に気を配ろうとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「大変だ！○○」のイメージから特徴的な動きをいろいろ見付け自分の動きに取り入れている。 ②気に入った「大変だ！○○」のイメージを選び、表したい感じを強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「大変だ！○○」からいろいろなイメージを捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ②イメージの表したい感じを強調するように「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして、感じを込めて踊ることができる。



嵐で吹き飛ばれされる木の葉

4 指導と評価の計画（例）

大変だ！○○（激しい感じの表現）

学習の段階		「大変だ！○○」のいろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。			
毎時間の小テーマ		オリエンテーション	身近な生活編	自然・社会編	群が生きる内容編
時数		1	2 ~ 4		
第六学年 時間の学習の流れ ↓	0	1 学習課題の確認。 2 心と体をほぐす。	1 心と体をほぐす。 2 学習課題の確認。「いろいろな『大変だ！○○』のイメージを即興的に踊ろう。」		
	10		3 小テーマからのイメージをいくつかみんなでやってみる。 ○教師のリードで急変する場面を入れながら即興的に踊る。		
	20	3 「大変だ！○○」からイメージすることを出し合う。 4 学習の進め方を知る。 5 出し合ったイメージの中から、いくつか選んで即興的に踊ってみる。	<ul style="list-style-type: none"> ★誇張と変化のある動き。 ★対極の動きの連続。 	<ul style="list-style-type: none"> ★不安定で不規則な動き。 ★変化と起伏のある動き。 	<ul style="list-style-type: none"> ★集まる・離れる、合わせて動く・自由に動くなど、群の動きを効果的に入れて。
	30	6 やってみたいの感想を出し合い、学習の見通しを持つ。	4 小テーマから好きなイメージを選び、ひと流れの動きにして踊る。 ○2~3人組で好きなイメージを選び、変化と起伏のある動きにして即興的に踊る。 ○人数を4人組に増やし、リーダーを変えながら群の動きを意識して即興的に踊る。		
	40				
	45		5 一番気に入ったひと流れの動きを半分に分かれて見せ合う。 6 学習のまとめをする。		
評価の観点	運動への関心・意欲・態度	③ (観察)	① (観察・学習カード)		
	運動についての思考・判断			① (観察・学習カード)	
	運動の技能				① (観察)

表現 第6学年 (7時間)

好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。

5 ~ 7

- 1 心と体をほぐす。
- 2 学習課題の確認。「表したいイメージが強調されるように動きを工夫して踊ろう。」

- 3 表したいイメージ別にグループを作る。(5時目)
- 3 グループの課題を確認する。(6時目、7時目)

4 表したいイメージが強調されるように、ひとまとまりの動きにして踊る。

- 「はじめ—なか—おわり」の三つの場面でひとまとまりの動きを考える。
- 一番表したい場面が強調されるように工夫する。(工夫のポイント例)
 - ◆表情も意識し、気持ちを込めて踊る。
 - ◆見る者をハッとさせる瞬間を入れる。
 - ◆余分なところはカットし印象的な動きは繰り返す。
 - ◆表したいイメージが伝わりやすいタイトルを考える。

- 5 発表会の進め方を知る
 - ・リーダーと発表順を相談。
 - ・タイトルと見所を紹介してから発表する。
 - ・ペアグループから1人、それ以外のグループから1人がそれぞれ作品の感想を言ってから次の作品にうつる。
 - ・可能であれば司会、音出し係も児童が行う。

5 見せ合って感じを確かめ合い、アドバイスし合う。



前の時間と比べて台風の激しさが出ていた？

うずをまくようにギュッと集まったあとに回りながらとびちったところが迫力あったよ。

- 6 学習のまとめをする。

6 発表会をする。

- ・発表する場所の四隅に印を置き、場所を広く使って発表する。
- 7 感想を出し合い、単元のまとめをする。

②
(観察・学習カード)

②
(観察・学習カード)

②
(観察)

5 本時の目標と展開

【第6学年表現「大変だ!○○」 6/7時間】

(1) 本時の目標

- 前時に残されたグループでの課題とイメージの表したい感じを確認し、「はじめ-なか-おわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして、感じを込めて踊ることができるようにする。 (技能)
- 互いのよさを認め合い、助け合って練習や発表をすることができるようにする。 (態度)
- 気に入った「大変だ!○○」のイメージの表したい感じを強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりすることができるようにする。 (思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 10分	<p>1 心と体をほぐす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リラクゼーションやストレッチをする。 ・軽快なリズムの曲に乗って踊る。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 表したいイメージを強調できるように動きや動き方を工夫して踊ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになってリラクゼーションやストレッチをしたり、軽快な曲に乗ってリーダーの真似をしながら踊ったりすることで、心と体をほぐすことができるようにする。 ・グループごとの表したいイメージを確認し、前時にどこまでできたのかを出し合い、本時の課題を意識することができるようにする。
なか 30分	<p>3 表したいイメージとグループの課題を確認し合う。「荒れ狂う台風」グループ 「サラリーマンは大変だ」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>はじめ：台風の序章。弱風 なか：だんだん強風に。渦を巻いたりぶつかったり激しく おわり：台風後の町並み</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>はじめ：電車に揺られる なか：どンドンすし詰めで大変 おわり：途中降りれなくて全員終点まで</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>群の動きにもっと変化をつけよう。</p> <p>ラッシュアワーのすし詰め状態をもっと強調しよう。</p> </div> <p>4 前時にできたひとまとまりの動きを踊ってみた後に、修正を加えて出来ばえを高める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>暴風が渦を巻きながら集まる-離れる-交錯する、個がそれぞれで吹き荒れる、を組み合わせよう。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>すし詰め状態で大きく揺れながら、自分の体が意に反して変な形になってしまうところを誇張しよう。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに表したいイメージと「はじめ-なか-おわり」の流れを画用紙に大きく書かせ、練習場所の近くの壁に貼らせておくことで、本時の課題を意識しやすくするとともに、教師がアドバイスしやすくする。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>台風の動きは、規則正しい動きではなく、不安定で不規則な動きにしていこう。</p> <p>ラッシュアワーのところは、全員が同じ方向へ揺れたり傾いたりするところから個の動きが際立つようにしたらどうだろう。</p> <p>強調したい様子は、印象的な動きを3~4回繰り返すといいね。</p> <p>うんと押さえた動きにしたり、うんと激しい動きにしたりするには、自分の意識を3倍にして極限の動きにしよう。</p> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆イメージの表したい感じを強調できるように動きに変化と起伏を付けたり、群の動きを工夫したりしている。 【運動についての思考・判断②】 (観察、学習カード)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアグループごとに、今日工夫したところを伝えてから発表し、よさや課題を見付けることができるようにする。
まとめ 5分	<p>5 ペアグループごとに発表し合う。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに学習を振り返るために、成果と課題を出し合った後に、学習カードへ記入する場をつくる。

